



35 創立：1984.7.10 / 証認：1984.8.6  
国際ロータリー第2660地区

## 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網島町9番10号 太閤園内  
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011  
例会日：毎週火曜日 12時30分 / 例会場：太閤園  
会長：山本隆一 / 幹事：源壽美子 / SAA：山崎修一  
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp  
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



インスピレーションになろう

### 本日の例会

〈第1600回〉 2018年7月31日(火) 本年度第4回

#### 卓話

第1回 出席強化イベント例会  
私の走ってきた道、これから歩いていく道

担当：山崎会員

- ロータリーソング
  - ランチタイムミュージック
- 限りなき道ロータリー

### 次回の例会

8月7日(火)

#### 次回卓話

第二外国語としての日本語  
講師：沢井則江氏(日本語学校講師・フリーアナウンサー)  
\*ソニアの個人レッスンの先生

担当：濃添会員

### 前回の報告

#### PRESIDENT INFORMATION

#### 会長インフォメーション 会長：山本隆一

二宮尊徳が実践した、  
報徳を以ってロータリーを理解する② 至誠

本日のテーマは、ロータリーでいえば「四つのテスト」に相当する、報徳の理念「四つの柱」のひとつ、至誠です。至誠とは、この上なく誠実なことであり、真心を尽くすという意味です。二宮尊徳は、弟子たちに「わが報徳の道は、至誠と実行の道であり、才智や弁舌を必要としない」と言い切ったそうです。尊徳の言う「至誠と実行」の至誠とは、生活を豊かにしたければ、誠実であることが基本であり、何をすることも心掛けが極めて重要だということです。そして、自分に対しても社会に対しても誠実であれということです。一方、実行とは、誠実だけでは何も生まれず、物事の本質を理解し、有益な勤めを実行して初めて豊かな生活が手に入るということです。また「才智や弁舌を必要としない」とは、世の中は、知恵や学問があっても、雄弁であっても、真心をもって事に当たることを実行しなければ、良い結果は出ないものだと教えています。加えて尊徳は「至誠と実行は、人間だけでなく、米、麦、野菜、うり、なす、草木にまで繁栄をもたらすものである」と教えたそうです。この言葉の意味を私なりに解釈すると以下ようになります。優れた学者や評論家

が、優れた理論をいくら説いても、それを理解できるのは人間だけであり、動物や植物に説いても馬の耳に念仏である。つまり、農業で良い結果を出し、生活を豊かにしようと思えば、人間の世界だけで物を考えるのではなく、農作物を取り巻く自然の摂理を自分の眼で観察し、深く理解する。その上で、高品質な農作物を少しでも多く収穫するには何が必要かを緻密に考え、質の高い耕作に精を出すべしと教えているのだと思います。私は、数学、会計、農業、土木、金融等、様々な分野で才智を持つ尊徳自身が「才智を必要としない」と言い切ることは、とても興味深いことだと思います。また、尊徳は「書物を読んで実行しない者は、鋤を買って耕さないのと同じ」と言ったそうです。至誠と実行をセットで捉えるのは、実行を重んじる考え方を反映しているのだと思います。私は、ロータリーが追求する倫理観の本質とは何かを考える時、報徳の道である至誠の考え方をイメージすれば、わかりやすいのではないかと思います。なぜならば、至誠とは、内心と表向きが同じことであり、陰ひなたなく行動することを意味するからです。尊徳は至誠の指導に際し「だます人になるな」と諭し、如何にすれば相手が満足し、喜んでくれるか、細かい心遣いをするのが重要であり、心遣いが足りないと誤りや対立を招くと言いました。また、ビジネスのあるべき姿  
(2ページへ続く)

インスピレーションになろう

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「もっとエモーショナルなクラブへ」

(1ページより)

として、自分の利益だけを考えず、買う人の身になって努力することが真心であり、人間としての誠実であると説きました。私は、この相手の身になって努力する真心、人間としての誠実は、ロータリーのめざす職業倫理と重なるものではないかと思えます。そして、更に言えば、ロータリーの「奉仕の理想」と、報徳の「至誠と実行」は同義語ではないかと思えます。みなさんは、どうお考えになるでしょうか。

## 幹事報告

幹事:源 壽美子

- 7月24日(火) クラブフォーラム クラブ奉仕部門  
鶴見区民祭実行委員会 サファイアルーム
- 28日(土) 第3回 サツマイモPJ  
13:00登録 13:30開始  
クラブ国際奉仕委員長会議  
14時～ 大阪社会福祉センター 5F  
→発委員長出席されます。
- 30日(月) IM3組 燦燦会 会長、幹事会
- 31日(火) 第1回出席強化イベント例会  
35周年実行委員会  
11:30～ 2F 例会場前

・米山記念奨学会より米山功労クラブの感謝状をいただきました。



・米山功労者として西野会員に感謝状が贈られました。

- \* IM3組 四条畷RCが6月末を以て解散されました。
- \* 今年度よりRI規定審議会の人頭分担金一人当たり\$1.5が\$1に減額されました。
- \* 前期会費未納の方は、お振込みくださいますようお願いいたします。

### <7月度理事会報告>

- ・鶴見区民まつり実行委員会にて、中村社会奉仕理事より組織案、役割について承認されました。
- ・35周年実行委員会にて、  
→鶴見区との折衝担当は山崎委員長、津野委員とすることで承認されました。  
→石碑の作成については、実行委員会に一任することで承認されました。

😊 NIKONIKO箱 😊

¥25,000.-

累計 ¥103,000.-

- 吉羽会員 先日の炉辺会合、ご出席お疲れ様でした。少し過酷でしたかね。企画した者として自戒いたします。
- 山崎会員 吉羽親睦委員長、第1回炉辺会合有難うございました。気候も論議もあつくて楽しい一時でした。
- 西野会員 役員理事の皆様、今期もよろしく。
- 田中会員 暑中(猛暑)お見舞い申し上げます。ミライトワ・ソメティに頑張ってくださいね。
- 中村会員 先週炉辺会合、突然の体調不良で欠席し、申し訳ございませんでした。
- 佐藤会員 酷暑!お見舞い申し上げます。本日、1.5才児の口腔検診の為、医療センターへ出向しますので早退いたします。
- 秀島会員 月20日は家内の母、おお婆さんが100歳の誕生日でした。祝! 炉辺ミーティング欠席失礼しました。

## 大阪鶴見RC国際交流基金

¥10,000.-

累計 ¥22,000.-

- 西野会員 山本会長の門出を祝して。

## 親睦委員会報告

委員長:吉羽潤司

去る7月20日第1階炉辺会合を京阪シティモールの屋上ビアガーデンにて開催しました。比較的風がりましたが、最近の高気温の最中でもあり若干ハードな会になってしまい申し訳ございませんでした。そういった中でも国際交流奉仕の面で活発な意見交換も行われました。次回は8月24日会場は善茶坊で開催されます。

皆様振ってご参加のほどよろしくお願いいたします。





## 災害支援プロジェクト

募金

¥21,000.-

累計：¥808,422.-

### クラブ奉仕部門クラブフォーラム

委員長：津野友邦

2018/7/24

#### 新規奉仕活動企画の為の参考ヒアリング

本年度の重要施策の一つにU-50の会の創設があります。またU-50の会には様々なテーマがありますが、その一つに「本気で取り組める新規奉仕活動アイデアの提案」というのがあります。

そこで本年度のクラブ奉仕部門クラブフォーラムでは、過去の歴史・既存事業の背景を踏まえた新規奉仕活動企画の為の参考ヒアリングを行いました。

多くの意見が出ましたが主要な意見は以下のとおりです。短い時間でしたが、貴重なご意見ありがとうございました。

- ・会員増強。特に若い会員、女性会員を呼ぶ企画、プロジェクトを立ち上げて欲しい
- ・U-50でどんどん既存概念に捉われない企画を提案してほしい。それを取捨選択すればよい。
- ・若手を厳しく指導してほしい。昔はマナーやロータリアンを厳しく指導された。
- ・現在の企画の見直しをすべき。芋掘りが本当に奉仕として役に立っているのか？区民祭りは？等々、既存企画の意味を再考し意味がなければ止めれば良い。
- ・時代背景も、ロータリークラブ自体の在り方も変わってきているのでリセットして考えれば良い。
- ・区民まつり→日本語学校とその国の料理を作って、地域交流をしていた。メンバー同士の交流を深めるという側面もあった。
- ・作文コンクールを特定の日本語学校だけでなく、広げていったらどうか？
- ・過去は交換留学生の受入、送出しを積極的に行っており、国際交流の集いに発展していった→国際の鶴見と言われたことも！
- ・過去IMでの企画、例えば各大学の留学生を大学の先生を通じて募集し、日本についての留学生問題をゲーム形式で行った等、を参考にしてほしい。
- ・国際交流の集いをどのようにしていけば良いのか、アイデア・企画が欲しい。

## 卓話

映画

「サムライと愚か者 オリンパス事件の全貌」

について

講師：山本 兵衛 氏 担当：須田会員



### 監督・編集・プロデューサー／山本兵衛

1973年11月7日生まれ。米マサチューセッツ州の高校を卒業後、ニューヨーク大学Tisch School of the Artsにて映画製作を学ぶ。監督、脚本、プロデュースした卒業作品『A Glance Apart』がニューヨークエキスポ短編映画祭にて最優秀フィクション賞を受賞。またフランスの国営チャンネル Arte、日本ではシネフィルマジカにて放映。短編作品が、ロッテルダム国際映画祭やトライベッカ映画祭などで上映され、短編4作目『わたしが沈黙するとき』は、パリシネマ、サンパウロ国際短編映画祭などはじめ、15以上の世界の映画祭にて上映されている。2011年に制作会社ヴェスヴィアスを設立

#### ■監督コメント

複雑な時代になってきました。グローバル社会において、多種多様な価値観だけでなく、様々な階層、人種、イデオロギーが常に歯ぎしりしながらぶつかり合ってきているのです。それが情報の加速化によりますます表面化し、誰もが何らかの決断や判断を常に迫られる時代になりました。日本社会としてだけでなく、現代社会に生きる人間として、これからどう対応していくべきなのか？ 2011年10月に表面化したオリンパス事件は、まさにこういったテーマが隠された事件であり、そういった疑問を投げかけることができると思ったのが、この題材に興味を持ったきっかけでした。

(4ページへ続く)

(3ページより)

このテーマを象徴するのがウッドフォード氏の言葉から引用している『サムライと愚か者』というタイトルです。ウッドフォード氏の言葉から引用していますが、この発言については、山口義正記者著の『サムライと愚か者？ 暗闘オリンパス事件』に詳しく記載されています。誇り高く名誉をかけて戦う<サムライ>がいる日本なのに、どうしてここまで臆病で卑怯なく愚か者>が共存できるのかという質問を、ウッドフォード氏が山口記者に聞いたのです。劇中にもあるように、ウッドフォード氏は、困難な状況にも関わらず自分を支持してくれた様々な人物をさして<サムライ>と呼び、ウッドフォード氏を解任した「弱気で主張がなく卑怯」な役員達を<愚か者>と定義したのです。しかし作品を制作していく過程の中で、自分の中では違った定義が形成されていきました。事実を犠牲にしてまでも忠実に会社に尽くした役員達。違法であると薄々知りながら会社のために不正会計処理を実行した社員達。そして三代に渡って秘密を抱え続けながら、なんとか解消しようとあらゆる手を尽くした元社長達。彼らが会社を護るために忠実に尽くした<サムライ>であることには間違いなかったと感じたのです。上場企業であるにも関わらず君主制度が敷かれている組織。その中で育まれた盲目的な忠誠心。それは次第に、彼らの倫理観、モラル、良心を蝕んでいった。しかし組織に属する限り、彼らは護られ続けた。だからこそ 20 年以上に渡り不正を隠蔽し続けることが可能だったのではないかと。

それではウッドフォード氏が<サムライ>と呼んだ、会社のために正しいことをしようとして立ち上がった人物達はどうでしょう？ 不正を目の当たりにして告発記事を執筆した山口記者や情報を提供した内部告発者達はどうでしょう？ 劇中に登場する当事者達は、正しいことをやり通そうと行動をとったにも関わらず、結局何も変えることが出来なかったことに対する虚無感を語っています。不正に関与した人物が一部は刑罰という形で制裁されたが、君主制度体質の変革までには至らず、正しいことをしようとした形跡は跡形もなく忘れ去られました。組織に忠実に尽くす多数派にとって、巻かれるべきものに巻かれず、無駄な主張をして結果を生み出せなかった少数派は<愚か者>と見なされたに違いないでしょう。しかし倫理観、モラル、良心に従ってとった行動が、評価されずに終わってしまうのが現代社会だとすれば、それほど恐ろしいことはないのです。

そして今回の事件で中心的な人物の一人であったウッドフォード氏自身も<サムライ>であり<愚か者>であるという見方もできます。猪突猛進タイプの人物であるウッドフォード氏には、自身がとった行動には絶対的な確信と信念があります。空気を読まずに信念を貫き通し、日本の企業体質に一石を投じたことは確かで、自身が語る<サムライ>の定義に彼自身があてはまります。しかし排他的で全体主義的な考え方が浸透している日本社会にとっては、不可解な価値観を押し付けようとする脅威だったという見方もできるのです。自分の意見を主張し続けて、空気を読もうとしないウッドフォード氏は<愚か者>として見なされ、解任という形で征伐されてしまった。

このご時世、<個人として筋を通した>だけではまったく

通用しない社会になりつつあります。そこまで価値観が多様化してきているのが、我々が生きている<今>であると考えます。不可解な価値観を押し付けようとする脅威に対して、どれだけ寛大な態度で臨むことができるのか？ 個人として社会としてどう向き合っていけばいいのか？ それは今後のグローバル社会において最も重要なテーマの一つであるとおもいます。



出席報告		7月24日[1599回]	
会員数	34名	ビジター	0名
(内出席規定免除)	9名	ゲスト	1名
出席会員	24名中 18名	出席総数	25名
出席免除会員	10名中 6名	前々回	7/3 M/U 1名
出席率	24/30 80.00%	修正出席率	79.31%



## 本日のロータリーソング

### 限りなき道ロータリー

奉仕の理想 胸に秘め  
 友情花と咲かせつつ  
 生きよう今日も ニコニコと  
 一筋の道 ロータリー  
 限りなき道 ロータリー



担当:佐藤会員